

かくだ  
あぶくま川水系角田地区土地改良区（宮城県）

地域との架け橋として女性理事が就任

あぶくま川水系角田地区土地改良区



前列左から2番目 永田理事、面川理事長、井上理事

組織の概要

面積：5,053ha  
組合員：5,013人  
理事：16人（うち女性員外2人）  
監事：3人  
職員：13人（うち女性4人）

通常の理事：9つの被選挙区から1～3人の理事を選挙  
登用方法 している。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和4年度	3月3日	理事会（定款・役員選挙規程の一部変更について）
	3月17日	定款・役員選挙規程の一部変更（理事定数、員外理事等） 総代会議決 総代へ説明
令和5年度	5月19日	定款・役員選挙規程変更 知事認可
	1月30日	理事会（理事（員外理事） 補欠選挙の執行について）
	3月14日	理事（員外理事）補欠選挙執行 公告（員外：推薦）
	3月19日	総代会にて理事（員外理事） 補欠選挙
（残任期 令和6年3月26日～令和8年6月26日）		

ながたまゆみ  
永田眞由美理事



経歴  
永田理事・井上理事両名とも、  
土地改良区の業務に以前から関わり  
があり、地域からの信頼も厚い。  
専業農家で米作りに取り組んで  
いる。

いのうえあい  
井上愛理事



理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

土地改良区の仕事は男性が多くハードな仕事。現在は組合員の中の女性の割合も少なく、なかなか集まる機会も多くはありません。若い人もあまり来ないため後継者問題も出てきていますが、若者や女性とのつながりをつくっていきたくと考えています。

女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

これからは土地改良の世界にもさらに女性理事が増えてほしいと思っています。若い人たちとの関わりを持つ中で、自分たちも勉強していく姿勢が重要だと考えています。

永田さん・井上さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。  
女性理事登用に関して、周囲からの風当たりが強い場面もありましたが、角田地区土地改良区の皆様には前向きに受け入れていただきました。女性理事お二人は地域からの人望もあり、農業にも熱心に取り組んでいらっしゃるため、適任であると考え立候補の後押しをさせていただきました。



永田理事  
井上理事

※引き受けた決め手。  
土地改良区の仕事はハードで男性社会というイメージがあったので、はじめは自分が手を挙げてよいものかという不安がありました。しかし、理事長と角田地区土地改良区の皆さんの女性理事登用への前向きな姿勢に背中を押され、立候補することを決めました。

おもかわよしあき

面川義明 理事長より



※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。  
女性理事への期待。これから進めようとする  
土地改良区へのアドバイス。

今回、役員をお願いするにあたり、二つの目標を立てました。一つ目は、積極的に田んぼ仕事に取り組んでいる女性。二つ目は、懇親会などに積極的に参加できる女性。この目標の下、役職員の皆様の御理解と積極的な情報提供を頂き、最適任者のお二人を選任できました。今回の女性理事登用するに当たり、役員の皆様のご理解とご支援があればこそ実現出来ました。改めて感謝いたします。

事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

永田理事・井上理事両名の理事としての活動は、あぶくま川水系角田地区土地改良区の知名度を高めていただくほか、組織全体の雰囲気をも明るくしてくださっていると感じています。

当土地改良区のこれからの事業展開を考えた時に、より多くの市民の皆様への情報提供と事業への理解は必要不可欠です。

今回の女性理事登用を機に、より開かれた土地改良区を目指していきたくと考えています。

# 江合川沿岸土地改良区（宮城県）

これまでの経験を活かし、地域の新しい風に



左) 佐藤理事長 右) 大場理事

## おおばひろこ 大場浩子 理事



**経歴**  
農協に勤めていた経験があり、現在は本格的に営農を始めて一年ほど。  
地域の総代からの推薦によって理事に就任。

**理事になって思うこと**  
(男女共同参画について思うこと、課題)  
現在、人口流出による後継者不足の問題なども出てきていますが、それによって農業が衰退していくのはとても悲しいことです。  
私も土地改良事業や農業に関して勉強しながらみんなで楽しく地域の農業を守っていければいいなと思っています。

**女性理事登用を進めるための秘訣**(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)  
土地改良事業の内容は幅広くまだ分からないことも多くありますが、事務局含め周りからのサポートや後押しを受けながら、様々な場面で女性ならではの感覚を生かしていくことが大切だと思います。

## 組織の概要

面積：4,513ha  
組合員：2,513人  
理事：13人（うち女性員外1人）  
監事：3人  
職員：12人（うち女性3人）

通常の仕事：地域の総代からの推薦による  
登用方法

## 大場さんが理事を引き受けるまで



総務課長

**※どのように説得したか。**  
地域の総代から推薦をいただきました。農協で働かれた経験をお持ちであり、農家のニーズや事情を熟知しているということで適任と考え、今回立候補をお願いしました。理事さんのご家族も土地改良事業に理解があったため、後押しをいただきました。



大場理事

**※引き受けた決め手。**  
農協に勤めた経験はありましたが、より幅広い土地改良区の業務のなかで自分が役に立てるのかとても心配でした。地域の方から推薦をいただき、事務局側でもしっかりサポートしていただけるということで、今回立候補することに決めました。

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年度  
8月22日 令和5年度臨時総代会で定款変更  
8月30日 宮城県より定款変更認可  
3月18日 立候補届出期間3月19日まで  
3月21日 無競争により選挙会実施  
3月25日 令和6年度通常総代会  
令和6年度  
5月22日 理事に就任

## さとうたかのり 佐藤多賀典 理事長より



**※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。**

今までの土地改良の世界はどうしても男性社会であり、組織の中で女性に積極的に意見を出してもらう機会は多くはありませんでした。  
しかしこれからは女性ならではの様々な視点を取り入れて土地改良区を運営していくことは重要なことだと考えています。  
事務局側でもバックアップ体制を整え、土地改良区全体で支えていくことが大切であると思います。

## 総務課長より

**※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。**

当土地改良区の各種委員会にも女性委員さんがいらっしゃいます。理事さん含め、会議などに女性に参加していただくことで、よりきめの細かい意見をいただけたり、委員内だけでなく地域内の女性の意見を吸い上げやすくなるということが多々あります。

女性理事登用に関しては、組合員や一般の方々へ理解を求め、自発的に立候補していただける方をどう増やしていくか、という点が現在の課題です。

これからは、女性はもちろん若者など様々な視点を取り入れた改良区を作っていくことが重要だと考えています。

# 大崎土地改良区 (宮城県)

## 安定したまちづくりを土地改良区から



前列左から2番目菅原理事長、左から3番目千葉理事

### ちば のぶこ 千葉 暢子 理事



#### 経歴

公民館館長を務めていた経験があり土地改良区関連のイベント等の開催にも尽力。まちづくりや社会教育の分野に携わってきた。

理事になって思うこと (男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

ヒトの「生きる」の営みに大変重要な「水」「農業」。そこに関わる、関わってきた皆様に改めて感謝の気持ちを深めているところです。土地改良区の管理運営についても知識を深め、役割を果たせるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 女性理事登用を進めるための秘訣 (女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

社会では「まちづくり・地域自治」の在り方が問われており、多くの場面で安定した、更には持続可能な運営管理に必死であることと思います。未来の子供たちへ「安定」をバトンタッチできるように土地改良区の運営管理に関する知識を深めていきたいと思っています。

### 組織の概要

面積：4,599ha

組合員：2,822人

理事：13人 (うち女性員外1人)

監事：3人

職員：11人 (うち女性4人)

通常の理事登用方法：

9つの被選挙区から1~2人の理事を選挙

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

#### 令和5年度

6月30日 理事会にて女性理事登用について協議  
1月30日 総代役員地区別懇談会にて総代へ説明  
(理事定数の変更・女性理事の登用)

2月1日

#### 令和6年度

6月24日 理事会 (定款・役員選挙規程の一部変更  
について議決)

8月26日 総代会 (定款・役員選挙規程の一部変更  
について議決)

9月20日 定款・役員選挙規程の変更認可

3月10日 理事並びに監事総選挙の公告

3月17日 総代会 (理事並びに監事総選挙)



事務局

※どのように脱得したか。

千葉理事においては公民館館長を務められていた際に世界かんがい施設遺産に登録された「内川」の歴史や役割、保全について周知する『内川夏まつり』を開催され、土地改良区実施のイベント等にもご協力いただいていたため、ぜひにと打診したところ早く引き受けていただきました。



千葉理事

※引き受けた決め手。

まちづくり・社会教育の現場経験によってお声がけいただいたことに感謝するとともに、これはもしかしたら「新しい」というべきことではないかと感じています。

すがわらかんいち

### 菅原 勤一 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

令和7年3月の理事改選にあたり、理事定数を3名削減し女性理事1名の登用が実現しました。

女性理事を引き受けていただいた千葉暢子理事においては、以前に世界かんがい施設遺産「内川」のイベント等でお世話になりましたので、今後も世界農業遺産及び世界かんがい施設遺産の情報発信や、土地改良区の運営において女性の視点を活かした活躍を期待しています。



### 事務局より

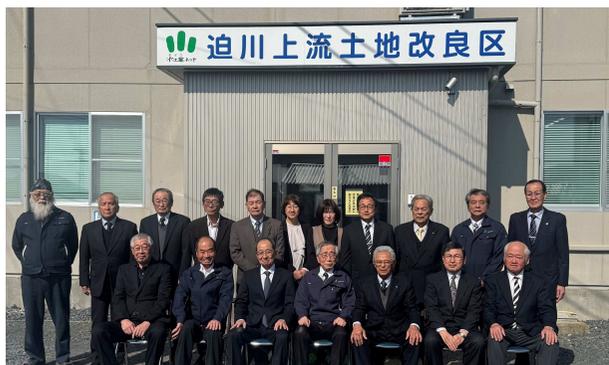
※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

千葉暢子理事においては、女性及び員外理事としての視点を活かして、土地改良区の運営改善やこれまでの「内川」の啓発活動等の経験を活かして、農業水利施設の多面的機能や土地改良区の役割についての啓発に手腕を発揮されることを期待しています。

また、理事就任と同時に会計担当理事に選任されております。

# 迫川上流土地改良区 (宮城県)

## 女性理事の一步から次世代の土地改良区へ



前列左から4番目金野理事長、後列左から6番目小山理事、7番目小野理事

### 組織の概要

面積：10,470ha

組合員：6,814人

理事：15人（うち女性員外2人）

監事：3人

職員：27人（うち女性8人）

通常の理事登用方法：

5つの被選挙区から1~5人の理事を選挙

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

#### 令和6年度

5月28日・6月24日 総務委員会・理事会

(総代及び役員任期満了に伴う選挙について)

7月29日・9月19日 理事会

(女性理事登用に伴う取扱について)

10月8日・17日 理事会・総代会

(定款、役員選挙規程の一部変更について)

11月11日 定款変更申請(総代、役員選挙規程)

11月19日 理事会

(任期満了に伴う総代選挙及び

役員選挙期日等について)

11月26日 定款変更 認可(国、東北農政局より)

1月22日 役員(理事・監事)総選挙執行公告

1月28日 総代会 役員(理事、監事)の総選挙

### おの 小野ゆきえ 理事



**経歴**  
製造業の事務職に従事しながら兼業農家を営んでいる。

理事になって思うこと(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

時代の流れがある中その時々に合わせて変革は必要で、良い方に幅広く考え行動していきたいと思います。女性目線で地域課題を解決できるように頑張りたいです。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

土地改良区は男性社会のイメージ、まさにそうでした。私たちの少しだけの勇気ある一步が次の方に繋がるようお声がかかった際には、是非、共に精進してまいります。

### おやまりゅうこ 小山竜子 理事



**経歴**  
40歳頃から夫と共に水稲専業農家を営んでいる。

理事になって思うこと(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

地域の総代、役員からの推薦は単純に嬉しく、女性理事としてまずは地域の課題から、そして土地改良区全体を勉強し、お役に立てるよう頑張っていきたいです。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

まず怖がらずに一步前に踏み込み、そこには新しい知識、経験が待っているのでは是非皆さんにもお勧めしていきたいです。

### 小野さん・小山さんが理事を引き受けるまで

※どのように説得したか。

令和5年度に男女共同参画について東北農政局よりご説明頂いた当時は、役員から大変厳しいご意見を頂戴しました。しかし翌年度の役員改選を機に理事定数の削減について協議・検討を重ね、20名より削減した理事定数15名の内、2名の女性理事を登用することとなりました。厳しい意見がありながらも粘り強く検討した結果が、理事定数削減と女性理事の登用という形になりました。



事務局



小野理事

※引き受けた決め手。

自分が役員として関わることは予想外でした。今回、地域の推薦と役員からお声がけをいただき、未知の世界ではあるけれども以前より思いを抱いていた地域貢献のはじめの一步という気持ちでお受けしました。



小山理事

※引き受けた決め手。

地域の総代、役員勉強会后小山さんを推薦したいという声上がり、その場に参加していた夫を通じて女性理事のお話を頂きました。地域から自分が必要とされたことが嬉しく、二つ返事で快諾しました。

### こんのつとむ 金野 勤 理事長より



※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

女性理事登用について県土連の研修会で知り、理事会で早速報告したものの、好ましい反応ではありませんでした。しかしここで考えを変えました。他の土地改良区も同じ立ち位置ではないかと。紆余曲折ありつつ役員方の理解も得て、理事定数の削減と女性理事の選出を実現しました。登用後、初めての理事会でのハラスメント防止規程の審議では従来気がつかない点に対する発言もあり、これからの土地改良区に必要な意見が今後も出てくるのではと期待が膨らみます。

### 事務局より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

2名の女性理事の登用により、広い視野で物事に対し、多種多様なご意見をいただけること、役員全体の雰囲気明るく朗らかにしていただくことに期待しております。また、会議では、積極的にご意見をいただく場面もあり、物怖じせずに溶け込んでいただけているのは、非常に心強く感じております。

いずぬま えんがん  
伊豆沼沿岸土地改良区（宮城県）

女性の目線から始める“魅力ある農業”



左から3番目 高橋弘志理事長 4番目 高橋久美理事

### 組織の概要

面積：430ha

組合員：418人

理事：10人（うち女性員外1人）

監事：2人

職員：3人（うち女性2人）

通常の理事：組合員の立候補・選挙によって選任  
登用方法

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

#### 令和6年度

5月9日 理事会（定款・役員選挙規程の一部変更について理事会承認）

5月31日 総代会（定款・役員選挙規程の一部変更について総代議決）

6月11日 知事認可  
（定款・役員選挙規程の一部変更）

12月16日 理事会（員外理事補欠選挙執行について）

2月3日 公告（員外理事補欠選挙執行）

3月13日 総代会にて員外理事補欠選挙

### たかはし くみ 高橋 久美 理事



#### 経歴

土地改良区で臨時として事務職を務めた経験がある。  
PTAや子供会育成会など、地域の活動にも積極的に参加してきた。

理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）

農業を取り巻く情勢は高齢化、担い手不足などによる離農等厳しい状況であり、今後ますます組合員が減少することを心配しております。

女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

魅力ある農業にするために土地改良区として何ができるのか、ということについて他の役員とともに話し合い、土地改良区の活性化により役員の積極的な登用を期待しております。

### 高橋さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。

これまではPTAや子供会育成会の活動を通して地域に貢献してこられました。土地改良区で臨時として事務の経験もあり、運営にも理解があることから立候補をお願いいたしました。



高橋理事

※引き受けた決め手。

家族も土地改良事業については以前から理解がありました。そのため周囲からの賛同も得て、理事への立候補を後押ししてもらいました。

### たかはし こうし 高橋 弘志 理事長より



※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。  
女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

これまで長年に亘り、役員は男性のみでした。

このたび男女共同参画の観点から、員外理事ではありますが女性理事が選出されました。今後女性の目線で土地改良区の運営への活発な意見を期待しております。

### 事務局より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

土地改良区の業務内容についてはある程度理解されており、これまでの経験を生かし理事会において女性の立場から活発な意見を期待しております。

# 黒沢尻用水路土地改良区 (宮城県)

男女の垣根を超え、チャレンジできる改良区へ



後列左から4人目)角田理事、同5人目)村上理事  
前列中央)我妻社一理事長

かくたまゆみ  
角田真由美理事



### 経歴

農事組合法人かながせ代表理事、農業委員、農協理事、ほ場整備事業推進委員として町の農業に大きく関わり、農業の発展に日々尽力している。

### 理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

「女性・男性」というのではなく、互いに協力していきたいと思えます。集まった際には情報交換したりして、少しでも土地改良区の役に立てればと思います。

むらかみ かずこ  
村上和子理事



### 経歴

以前、村田町の直売所「葦神や」の一員として法人で生産した米や新鮮な野菜、加工品などの販売の経験があり農業振興の発展に寄与してきた。

### 理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

まずは土地改良区の仕事がどのようなものか理解して、よりよい土地改良区運営ができるように、勉強していきながら参加していきたいと思えます。

## 組織の概要

面積：590 ha  
組合員：814人  
理事：11人 (うち女性員内2人)  
監事：3人  
職員：6人 (うち女性4人)

通常の理事：5つの被選挙区から1名～4名の理事を  
登用方法 選挙している。

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和6年8月26日 役員選挙告示  
(立候補受付期間 8月26日～8月30日)

9月 3日 無競争にて選挙会実施  
選挙会にて当選決定

9月16日 理事就任

### 女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

登用する側も女性自身も、なんでもチャレンジしてみようという気持ちが大事だと思うので、それが女性理事登用を進めていくための秘訣でもあると思います。「女性・男性だから」という考えをまず無くして、同じ目線でいろいろなものを見ることができるようになればと思います。

## 角田さんが理事を引き受けるまで



事務局

### ※どのように説得したか。

農業に深く携わっており、重機の操作など何でもこなす角田さんに是非お願いしたい、と思ってお声がけをしました。



角田理事

### ※引き受けた決め手。

まずやってみなくてはわからない、と思い、引き受けました。村上さんに会い、この方なら一緒にやっていけそう、協力してやっていきたいと思いました。

わがつまそういち

## 我妻社一理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。  
これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

角田理事と村上理事においては、員内理事として推薦していただきました。女性理事として、今までと違った観点からの積極的な意見や発案により当改良区の組織改革へとつなげていただき、今後益々土地改良区への女性参画にも期待をしております。

## 村上さんが理事を引き受けるまで



事務局

### ※どのように説得したか。

ご家族の方で以前理事をお願いしていたことがあり、土地改良区とも関わりがあった。今回女性理事を登用するにあたり村上さんしかいない、と思ってお声がけしました。



村上理事

### ※引き受けた決め手。

地元の理事の方や前理事長からの推薦があり、引き受けることにした。角田さんと一緒にということでも心強く思いました。

## 事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

当土地改良区は女性職員が多いので、今後相談がしやすくなると思います。また、理事会などの会議に女性理事が入ることで、会議の雰囲気柔らかくなるのではないかと考えています。当土地改良区の役員には我々女性職員の意見も尊重していただいているので、理事会の場でもどんどん提案をして頂きたいです。

# 柴田郡村田町外一町澄川土地改良区（宮城県）

社会の構成員として  
男女共に活躍できる改良区へ



最前列左から4番目上田理事長、中央左から3番目齋藤理事、4番目佐山理事、5番目水戸邊理事

## 組織の概要

面積：802ha  
組合員：1,311人  
理事：13人（うち女性員内2人・員外1人）  
監事：3人  
職員：3人（うち女性1人）

通常の理事：3つの被選挙区から4～5人の理事を選登用方法 挙している

## 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

### 令和4年度

12月13日 理事会（土地改良団体における男女共同参画について土地連の資料をもとに説明）

### 令和5年度

5月23日 理事会（女性理事登用について方針確認）  
1月20日 理事会（具体的取組の決定）

### 令和6年度

12月6日 理事会  
3月10日 立候補・推薦候補届出期間（3月14日まで）  
3月14日 無競争により選挙会で当選人を決定  
3月18日 通常総代会で当選証書付与

さいとう えいこ  
齋藤 栄子理事



### 経歴

現在は、民生委員を務めながら、そら豆・里芋・とろろ芋等の生産と米作りを行っている。

### 理事になって思うこと

（男女共同参画について思うこと、課題）

理事就任については、現在民生委員を務めている関係で一度お断りしましたが、熱心にお声がけいただき、お引き受けしました。農家にとって水はとても大切で重要です。関係する皆様のご指導を受け女性の立場から努力したいと考えています。

みとべ こ  
水戸邊 いく子理事



### 経歴

建設業の事務職として勤務していた経験がある。

### 理事になって思うこと

（男女共同参画について思うこと、課題）

私は員内理事という立場ですが農作業の大半は部分委託です。今回理事長からの強い要請によりお引き受けしました。土建事業者での事務経験や、退職後から現在までの社会活動経験を土地改良区運営の一助とすることができれば幸いと考えています。

さやま かよこ  
佐山 加代子理事



### 経歴

農業委員会の農地利用最適化推進委員を長く務めている。

### 理事になって思うこと

（男女共同参画について思うこと、課題）

所有地が再ほ場整備地の対象となったことを機に、農地流動化が促進され集約化が図られました。今回要請を受け、多忙を理由に一度辞退しましたが今までの農業との関わりや主婦活動体験を、土地改良区理事の一員として生かすことができればとの思いをもって就任させていただきました。

## 齋藤さん・水戸邊さん・佐山さんが理事を引き受けるまで



事務局

理事長・前副理事長から女性理事さん方へ、お声がけいただきました。



齋藤・水戸邊・佐山理事

女性参画を推進するため是非にと熱心な要請を受け、お引き受けしました。

うへだ まさかず

## 上田 万作一 理事長より



土地改良区の女性理事割合を10%以上との目標提示を受け、当改良区は各選挙区当たり1人以上との独自目標を掲げて取り組みました。他改良区での理事定数の増で対応する事例も伺っていましたが、当改良区は農業者年金受給者対応から既に員外理事規定の下4名の就任を見ており、あくまでも現行規定の運用による女性理事の就任をお願いすることになりました。

結果として3名（員内2名・員外1名）の登用となり、23%の女性理事就任率となりました。農政の変革期にある今、お互い社会の構成員として、男性だけでなく女性の視点から改良区の進展に寄与頂くようご期待申し上げる次第です。

## 事務局長より

女性理事を通じてこれまでになかった視点で意見やアイデアが加わり、当改良区の運営に役立つのではないかと期待しています。みやぎ水土里ネット女性の会へ積極的に参加して頂いて、交流の輪を広げながらともに研鑽されることを望みます。

# 仙台東土地改良区（宮城県）

## 女性の視点でより親しみやすい改良区に



前列左から4番目木村理事長、6番目伊藤理事、7番目小島理事

### 組織の概要

- 面積：2,135ha
- 組合員：2,099人
- 理事：12人（うち女性員外2人）
- 監事：3人
- 職員：9人（うち女性3人）
- 通常の理事登用方法：

3つの被選挙区から2~4人の理事を選挙

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

#### 令和5年度

4月13日～2月29日

理事会・総務委員会（男女共同参画について）

#### 令和6年度

4月12日～7月26日

総務委員会、理事会、総代会（定款・役員選挙規程の一部変更について）

8月6日 定款・役員選挙規程変更の知事申請

11月7日～2月27日

総務委員会、理事会（任期満了に伴う役員選挙日程等）

3月7日 任期満了に伴う役員選挙執行について告示

3月19日 総代会（任期満了に伴う役員選挙執行）

### いとう けいこ 伊藤 恵子 理事



**経歴**  
6年前まで改良区職員として勤務。現在は専業農家として農業に携わっている。

理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）  
土地改良区退職後、介護をしながら専業農家として日々米作り、野菜作りに励んでいます。  
私に理事が務まるかどうか不安でしたが地域のお役に立てるよう、しっかり自分の歩幅で前向きに取り組みたいと思います。

### こじま 小島 ひろみ 理事



**経歴**  
ご自宅で経営されている造園業の事務・経理を担当されている。

理事になって思うこと（男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど）  
はじめは、土地改良区についての知識が皆無なのに理事が務まるだろうか？という気持ちでした。主人には役に立たなくてもいいから邪魔にならな！と言われましたが、女性の立場から少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思います。

### 伊藤さん・小島さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。  
土地改良区を理解していただき、事業・運営と一緒に携わっていただけの方の人選について、当土地改良区の地区内外を問わず関係団体等に女性理事の推薦をお願いしました。



伊藤理事

※引き受けた決め手。  
前理事長より何度も何度も熱心に女性理事登用の要請をいただき、引き受けることを決意しました。



小島理事

※引き受けた決め手。  
60歳を過ぎて未知の仕事に挑戦できる機会はなかなか無いと思い、お引き受けいたしました。

### きむらこういち 木村 浩市 理事長より



※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。  
女性理事への期待。

前理事長の時から女性理事登用に向け、理事会等で種々検討してきました。これまでの、農業関係の役員は男性が担うという固定観念をどのように打破し、男女共同参画を進めていけばよいか手探りの状態ではありましたが、就任していただく伊藤、小島両理事におかれましては、私たちと共に土地改良区運営に携わっていただくことを快く引き受けいただき感謝しております。今後お二人のお力を得ながら土地改良区の果たしている役割を組合員以外の市民へも発信していきたいと思っております。

### 事務局より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

伊藤恵子理事・小島ひろみ理事の両名は農業に携わっておられます。就任を機に、土地改良区運営において、女性から見た細やかな考え方を積極的に発言していただくことにより組織全体を活性化させ、より組合員からの信頼を得るとともに親しみやすい土地改良区になることと期待しております。

# 鶴田川沿岸土地改良区 (宮城県)

## 女性の視点を土地改良区の“当たり前”に



前列左から1番目千葉理事、前列左から4番目千葉理事長、前列右から1番目伊藤理事

### 組織の概要

面積：2,824ha  
 組合員：1,468人  
 理事：11人（うち女性員外2人）  
 監事：3人  
 職員：10人（うち女性6人）  
 通常の理事登用方法：  
 3選挙区の定数による選挙

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

#### 令和5年度

4月18日・10月24日 理事会  
 （女性員外理事について協議）

3月5日 理事会  
 （定款・役員選挙規程の一部変更について  
 通常総代会にて総代会議決、総代へ説明  
 （定款・役員選挙規程の一部変更・理事定  
 数、員外理事等について）

#### 令和6年度

4月16日 定款・役員選挙規程変更知事認可  
 4月24日 理事会  
 （役員・員外理事）選挙の執行について  
 8月1日 理事・員外理事選挙執行公告について  
 8月8日 臨時総代会・役員選挙  
 9月2日 役員就任

### ちば さなえ 千葉 早苗理事



**経歴**  
 農業委員として、3期に  
 亘り町の農業に大きく関  
 わり、現在は専業農家と  
 して農業の発展に日々尽  
 力している。

理事になって思うこと（男女共同参画  
 について思うこと、課題や解決のため  
 にできることなど）

今後の農業の経営におい  
 て、若い後継者の不足や、  
 これからの農業の担い手の  
 育成などが地域の課題に挙  
 げられると思います。

女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

男性の目線だけでなく女性目線でも当たり前になるよう認識してもらうことが重要であり、そのことが次につながるのではないかと思います。

### いとう まさこ 伊藤 政子理事



**経歴**  
 福祉施設、建設会社の代  
 表として地域社会の発展  
 に寄与されてきている。

理事になって思うこと（男女共同参画  
 について思うこと、課題や解決のため  
 にできることなど）

女性理事として土地改良区  
 に関わることは、多くの挑戦  
 と変化を伴う事と思います。  
 女性理事が複数名登用される  
 ことで、発言し辛さが緩和さ  
 れ、より活発な議論が生まれ  
 る可能性があると思います。

女性理事登用を進めるための秘訣（女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス）

女性理事の登用には家族の理解や組織内の意識改革が重要であり、特に農業分野では男性中心の慣習が根強く残っているため、女性が役員として活躍するには一定の工夫が必要だと思います。

### 千葉さん・伊藤さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか  
 女性理事の登用について理事会等で  
 県の担当者に講師依頼したり、地域の  
 流域管理運営委員、総代、法人の方  
 々に人選をお願いし、懇切丁寧にお話  
 していただき、各地域の代表から2名  
 の女性理事の推薦をして頂きました。



千葉理事

※引き受けた決め手  
 地域のパイプ役としても女性登用は  
 必要であると思います。



伊藤理事

※引き受けた決め手  
 女性理事が登用されることで、組織  
 の視点が広がり、地域や家庭目線での  
 意見がより反映されるようになってい  
 けばいいと思います。

### ちば さかえ 千葉 榮 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ、女性理事への期待、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

宮城県土地改良事業団体連合会主催による全土連担当部長の講演の後、意見交換があり積極的に取り組む旨の発言をしました。有言実行すべく令和6年8月臨時総代会にて改選、9月に就任し女性理事はそれぞれ総務・事業委員会に所属し、理事会などで働き方改革案や新提案等の発言を頂き執行に反映されております。お二人は幅広く活動されている方々ですから、これまで培ってきた経験を活かした活躍に期待しております。

### 事務局より

※登用によって土地改良区に生じた変化、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス

当土地改良区は女性職員が多いので、今後相談がしやすくなると思います。また理事会などの会議に女性理事が入ること、会議の雰囲気も柔らかくなったと感じております。女性理事登用を進めるにあたり土地改良区の役割などを丁寧に説明していくことが大切だと思います。